

高等学校福祉科採点基準

3枚のうち1

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

| 問題番号 | 正 答 (例) | | 採 点 上 の 注 意 | 配 点 | | |
|---------|--------------------------------|------------------------------------|--|--|----|------------------|
| 1 | 1 | (ア) 個人 | | 各 2 × 8 | 36 | |
| | | (イ) 生命 | | | | |
| | | (ウ) 幸福追求 | | | | |
| | | (エ) 公共の福祉 | | | | |
| | | (オ) 健康 | | | | |
| | | (カ) 文化的 | | | | |
| | | (キ) 社会福祉 | | | | |
| | | (ク) 公衆衛生 | | | | |
| | 2 | 申請保護の原則 | | 順序は問わない。 | | 各 4 × 4 |
| | | 基準及び程度の原則 | | | | |
| 必要即応の原則 | | | | | | |
| 世帯単位の原則 | | | | | | |
| 3 | 生活扶助基準と、一般低所得世帯と消費実態との均衡を図るため。 | | 内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。 | 4 | | |
| 2 | 1 | (ア) 車いすの使用者が、自分で車輪を動かす際に使用する。 | 内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。 | 各 4 × 2 | | |
| | | (イ) 介助者が、車いすの操作中に段差などを乗り越える際に使用する。 | | | | |
| | 2 | 3次の目標 | 利用者の状態や状況に応じた安全で安楽な車いす移乗、移送の方法を考え表現できる。 | 目標、学習活動、理由がすべて対応しているものだけを合っているものだけを正答とする。 問いを正しくとらえていれば、内容は異なってもよい。 | 20 | |
| | | 学習活動 | 部分介助の必要な利用者の安全で安楽な移乗、移動を支援するという課題を設定し、実習室や校内の段差や坂道の車いす移動を生徒同士で実施させる。利用者役の体験を通して感じた危険や不快な気持ちをグループで共有し、利用者の安全で安楽な移乗、移送方法を具体的にまとめる。最後にグループで考えた方法を発表させ、クラス全員で共有させる。 | | | |
| | | 学習活動を設定した理由 | 指導計画の1次及び2次で基礎的な知識と技術を習得し、自立度の高い利用者の移乗と実習室での車いす移送の方法を体験していることから、事例を用いて2次とは異なる介助を要する利用者の安全で安楽な車いす移乗、移送を支援するという課題とする。その課題を通して、車いすの移乗、移送の基本的な技術を習得させるとともに、利用者役、介助者役それぞれが車いす移乗、移送における安全とは何か安楽とは何か等、様々な意見を取り入れながら考え、まとめを発表させ、4次の概念化へつなげることができるような学習活動とした。 | | | |
| 3 | 1 | ① 洗い場で移動するため。 | 内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。 | 各 2 × 3 | | |
| | | ② 浴槽内で立ったり座ったり姿勢を保持したりするため。 | | | | |
| | | ③ 浴槽に出入りするため。 | | | | |
| | 2 | 40 cm 程度 | | 4 | | |

高等学校福祉科採点基準

3枚のうち2

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

| 問題番号 | 正 答 〔例〕 | 採 点 上 の 注 意 | 配 点 | | | | | | | | | | |
|------|--|---|--|---------------------------|--|------|----------------------------------|-----|---------------------------|---|------|--|------|
| 4 | 1 <ul style="list-style-type: none"> ・転落しないように、ベッドに体幹や四肢をひも等で縛る。 ・自分で降りられないように、ベッドを柵（サイドレール）で囲む。 ・点滴・経管栄養等のチューブを抜かないように、四肢をひも等で縛る。 ・点滴・経管栄養等のチューブを抜かないように、または皮膚をかきむしらないように、手指の機能を制限するミトン型の手袋等をつける。 ・車いすやいすからずり落ちたり、立ち上がったたりしないように、Y字型拘束帯や腰ベルト、車いすテーブルをつける。 ・立ち上がる能力のある人の立ち上がりを妨げるようないすを使用する。 ・脱衣やおむつはずしを制限するために、介護衣（つなぎ服）を着せる。 ・他人への迷惑行為を防ぐために、ベッドなどに体幹や四肢をひも等で縛る。 ・行動を落ち着かせるために、向精神薬を過剰に服用させる。 ・自分の意思で開けることのできない居室等に隔離する。 | 3つ書かれていればよい。 内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。 | 各4×3 | | | | | | | | | | |
| | 2 <ul style="list-style-type: none"> ・本人の関節の拘縮、筋力の低下といった身体機能の低下や圧迫部位の褥瘡の発生などの外的な弊害。 ・食欲の低下、心肺機能や感染症への抵抗力の低下などの内的な弊害。 ・転倒や転落事故、拘束具による窒息等の大事故を起こす危険性。 | 内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。 | 各4×3 | | | | | | | | | | |
| | 3 <table border="1"> <thead> <tr> <th>要件</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>切迫性</td> <td>利用者または他の利用者などの生命または身体が危険にさらされる可能性が著しく高いこと。</td> </tr> <tr> <td>非代替性</td> <td>身体拘束その他の行動制限を行う以外に代替する介護方法がないこと。</td> </tr> <tr> <td>一時性</td> <td>身体拘束その他の行動制限が一時的なものであること。</td> </tr> </tbody> </table> | 要件 | 内容 | 切迫性 | 利用者または他の利用者などの生命または身体が危険にさらされる可能性が著しく高いこと。 | 非代替性 | 身体拘束その他の行動制限を行う以外に代替する介護方法がないこと。 | 一時性 | 身体拘束その他の行動制限が一時的なものであること。 | 順序は問わない。 要件と内容ともに合っているものだけを正答とする。 内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。 | 各6×3 | | |
| 要件 | 内容 | | | | | | | | | | | | |
| 切迫性 | 利用者または他の利用者などの生命または身体が危険にさらされる可能性が著しく高いこと。 | | | | | | | | | | | | |
| 非代替性 | 身体拘束その他の行動制限を行う以外に代替する介護方法がないこと。 | | | | | | | | | | | | |
| 一時性 | 身体拘束その他の行動制限が一時的なものであること。 | | | | | | | | | | | | |
| 5 | 1 <table border="1"> <tbody> <tr><td>①</td><td>大脳</td></tr> <tr><td>②</td><td>視床</td></tr> <tr><td>③</td><td>視床下部</td></tr> <tr><td>④</td><td>橋</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>延髄</td></tr> </tbody> </table> | ① | 大脳 | ② | 視床 | ③ | 視床下部 | ④ | 橋 | ⑤ | 延髄 | | 各2×5 |
| | ① | 大脳 | | | | | | | | | | | |
| | ② | 視床 | | | | | | | | | | | |
| | ③ | 視床下部 | | | | | | | | | | | |
| | ④ | 橋 | | | | | | | | | | | |
| | ⑤ | 延髄 | | | | | | | | | | | |
| | 2 | ア | アルツハイマー型認知症 | アルツハイマー病 もよい。 | | | | | | | | | |
| | | イ | 血管性認知症 | 血管型認知症、脳血管性認知症 もよい。 | | | | | | | | | |
| | | ウ | 前頭側頭型認知症 | 前頭側頭葉変性症、ピック病 もよい。 | | | | | | | | | |
| | エ | レビー小体型認知症 | レビー小体を伴う認知症、レビー小体病 もよい。 | | | | | | | | | | |
| 3 | (1) | ① | 現実と合わない不合理で誤った考えを強く確信し、決して訂正できない状態。 | 内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。 | | | | | | | | | |
| | | ② | あてもなく歩き回るように見えている状態。 | | | | | | | | | | |
| | | ③ | 時間や場所、人について把握する力が低下した状態。 | | | | | | | | | | |
| | | ④ | 運動機能に麻痺などの障害がないにも関わらず、以前はできていた着衣ができない状態。 | | | | | | | | | | |
| (2) | 通所介護施設内のデイルームで、Aさんが子育てをしていた頃に子どもと一緒に歌っていた歌を歌うというレクリエーションを行う。歌を歌った後にAさんに子育てをしていた頃の思い出を語ってもらい、その話を共感を持って聞く。 | 問いを正しくとらえていれば、内容は異なってもよい。 | 8 | | | | | | | | | | |

高等学校福祉科採点基準

3枚のうち3

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

| 問題番号 | 正 答 (例) | 採 点 上 の 注 意 | 配 点 | | | |
|------|---------|---|---|----------------------------|---|----------------------------|
| 6 | 1 | <p>周りや路面の様子を探る役割</p> <p>障害物に衝突するのを防止する役割</p> <p>視覚障害があることを周囲に伝える役割</p> | <p>順序は問わない。 内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。</p> | <p>各 4 × 3</p> | | |
| | 2 | <p>ガイドヘルパーは、視覚障害がある人の斜め前に、同じ方向を向いて立つ。</p> | | | <p>順序は問わない。 内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。</p> | <p>各 4 × 3</p> |
| | | <p>視覚障害のある人に、ガイドヘルパーの肘の少し上を軽く掴んでもらう。視覚障害のある人には、脇をしめてもらう。</p> <p>ガイドヘルパーは、視覚障害のある人に掴んでもらっている側の腕を脇腹にそわせて下ろす。下ろした後は、腕を振らないようにする。</p> | | | | |
| | 3 | <p>Aさんに直接器に触れていただきながら、「12時の方向に天ぷらの盛り合わせがあります」など具体的に献立の位置を説明する。</p> | <p>問いを正しくとらえていれば、内容は異なってもよい。</p> | 4 | | |
| | 7 | <p>英国やアメリカ合衆国における社会福祉思想の発展の概要を扱うとともに、スウェーデンやデンマークなどにおける社会福祉思想及びアジア地域の福祉の状況も扱うこと。</p> | <p>内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。</p> | 10 | | |